

社会医療法人社団 愛有会

愛有会通信

令和8年1月 発行

Vol.15

通算 第234号

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

愛有会 基本理念

1. 地域包括ケア

私たちは、医療・看護・介護・予防・生活支援のサービスを通じて、地域と共に安全で安心して暮らしていける街づくりに貢献します。

2. 環境経営

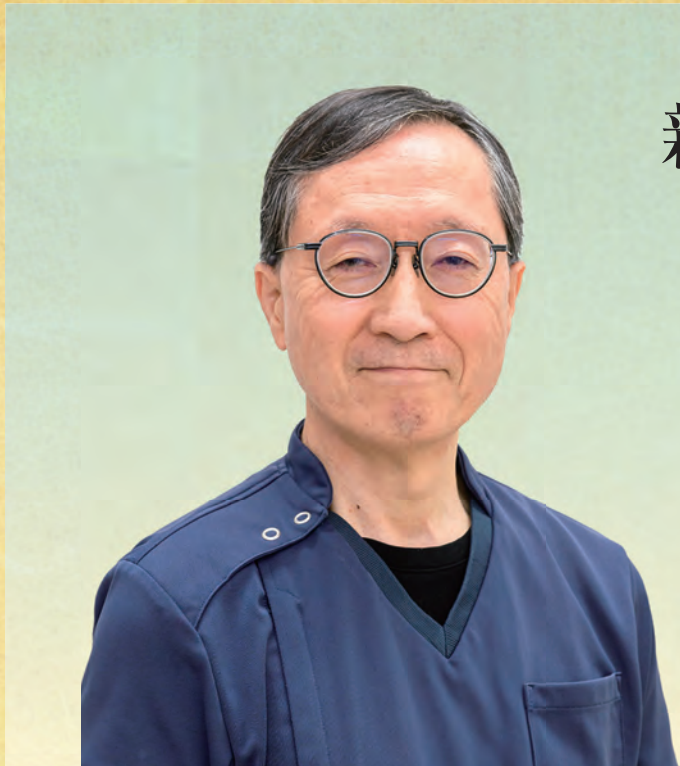
私たちは、様々な環境への取り組みを責務と考え、職員全員で質の向上と環境負荷の低減に努めます。

3. 健康経営

私たちは、職員の健康保持と共に働き方改革を推進し、多様な人材が向上心を持って働き続けられるよう努めます。

4. 地域防災

私たちは、事業活動と地域社会活動を持続してくため、災害防止対策と災害時支援活動に地域と共に取り組みます。



新年あけまして おめでとうございます

社会医療法人社団 愛有会

理事長

阿部 真也

久米川病院 院長

介護老人保健施設 久米川 施設長

私たち愛有会は、多くの皆様に支えられて新しい年を迎えることができました。当初より一貫して救急医療に取り組んできましたが、その積み重ねが社会医療法人格へと繋がり、そして市の中心部にある都有地での事業認可へと導かれてきました。

現在の愛有会は、4つの理念のもとで事業を運営しています。

1つめは地域包括ケアを支えることです。この主な目的は、市民の在宅生活を守ることにあります。そのため、地域に求められる役割を把握し、関係機関と密接に連携しながら、救急医療・リハビリテーション・入所介護・在宅医療等を通じて広く対応できるように努めています。

2つめは環境経営です。病院・介護施設は、水・電気・ガスのみならず、医薬品からオムツまで多量に消費し多量の廃棄物を排出します。そのため環境に与える負荷は大きく、その社会的責任は重大であることから、それらを減らすために毎日小さな活動を積み重ねています。

3つめは健康経営です。長寿社会の進行により、健康寿命という考えが認識されてきています。

人は心身の健康を保つことで、より楽しく充実した人生をおくることができます。働き盛りの年代は、様々なストレスにさらされ、そのストレスが生活習慣の乱れを引き起こし、その影響が年齢とともに現れてきます。就業期間中の健康管理と健康保持の大切さは、もっと強調され自覚されるべきと考えます。愛有会では、第三者評価を取り入れ、様々な指標に沿って健康度の向上に取り組んでいます。

4つめは地域防災です。近年、地震・風水害・異常気象など自然災害による被害の増加がみられ、事業を営む者にとって災害時の事業継続への備えが必須となってきました。特に病院や介護施設は、多くの収容者の人命を守り、被災者の救援にあたる重要な役割を担うため、いざという時の地域の防災の拠点として、しっかり機能できるよう対策と訓練に努めています。

地域の成長・発展なくして愛有会の成長・発展はありません。これからも地域住民への安心・安全な医療と介護の提供を通じて、地域社会への貢献に努めてまいります。

法 人 事 業 部

新年あけましておめでとうございます。

本年もより一層職員の働きやすい環境づくりと経営基盤の強化に努め、地域住民の皆様が安心して暮らせる医療、介護事業に大きく貢献できるよう邁進致します。

皆様方のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。 統括マネージャー 服部 智美

令和7年度事業計画での取り組み

【内部統制】

- ・事業推進
- ・財務管理

【令和7年度事業計画】

法人理念に基づく事業経営の継続と事業収益の拡大を図るため、事業計画の進捗管理に取り組む。

1. 経営戦略推進
 - ・財務会計システムの整備
 - ・事業収益状況の適正管理
 - ・行政助成金・補助金の活用
2. 健康経営推進
 - ・ワーク・エンゲイジメントの向上
3. DX 推進
 - ・医療系システムの電子化整備
 - ・人事労務系システムの基盤の検討と業務改善

統括マネージャー

服部 智美

各事業所の目標達成に向け、現場職員と共に人材確保、地域との連携、施設基準の取得等に取り組みました。本年も宜しくお願いします。

総務部門

部長 鈴木 加代

健康経営では、ワークエンゲイジメントの向上を目標にしてきました。職員が安心し、働きやすい職場となるよう、更なる向上を目指します。

会計部門

部長 永井 美佐緒

引き続き経営基盤の強化に向け、財務会計の法人内プロセス整備・管理を進めます。他部署との関わりを大切に、風通しの良い関係作りを心掛けて参ります。宜しくお願いします。

経理部門

部長 宮崎 太穂

昨年10月に経理部長として着任しました。皆さまに温かく迎えていただき感謝しています。まだ慣れない点もありますが一歩ずつ力を尽くしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。

財務・行政部門

室長 浅野 孝幸

財務会計システムと、他の法人内システムとの連携運用に向けて取り組んでいます。行政報告や各種補助金の法人申請業務の電子化を推進しました。本年も宜しくお願いします。

DX 推進部門

室長 斎藤 陽

昨年は主にインフラ周りの整備を中心に行ない無事に完了しました。電子カルテの来年度の導入に向けて協力を頂くことが多くなりますが宜しくお願いします。

久米川病院・老健久米川

地域包括医療病棟転換

久米川病院は、2025年8月より地域包括ケア病棟から地域包括医療病棟に転換しました。地域包括医療病棟は2024年の診療報酬改定で新設され、地域の高齢者救急を率先して受け、治療とリハビリを提供し、社会生活に復帰していただくことを目的としています。まさに当院の取り組みに合致した機能であり、当院が目指すべき姿と重なります。しかし、移行のための施設基準が厳しく、中でも平均在院日数21日以下は高い壁の1つでしたが、医局、看護部、リハビリテーション科等が協力して短縮することができました。（2023年度26.8日、2024年度20.7日、2025年度16.3日）

地域包括医療病棟への転換と合わせて、地域連携・入退院支援室を立ち上げました。入院時から退院に向けた支援を行っていくとともに、地域の病院・介護施設・居住系サービス事業者等と連携をとり、頼りがいのある病院を目指していきます。

救急外来の紹介

久米川病院外来では、一般診療外来に加え、発熱外来や胃・大腸内視鏡検査から整形外科・消化器疾患の手術まで、幅広い診療に対応しています。特に救急で来院された手術適応となる外傷患者に対しては、手術までの待機中に日常生活動作能力（ADL）の低下や合併症のリスクが上がるため、可能な限り早く対応するように努めています。

発熱外来では、感染症の流行期には受け入れ体制を強化し、限られた規模ながらも迅速な判断とチームワークで安全・確実な医療を提供できるように努めています。地域の皆様に「近くに信頼できる病院がある」と感じて頂けるよう、日々診療体制の充実を図っています。



2025年4月21・22日に公益財団法人日本医療機能評価機構が定める機能種別版評価項目3rdG: Ver.3.0を受審し認定されました。（2002年より認定更新中です）

また、11月10日医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査が実施され、指摘事項なく終了しました。この評価を基に、業務改善を続けより良い病院へと発展してまいります。

長寿を祝う会

2025年9月に老健にて長寿を祝う会を行いました。コロナの流行も続いている状況の為、外部からの出演の協力は取りやめ、密にならないように2か所での分散開催としました。



催し物としては、穴本・山田介護士による日本舞踊、服部事務長によるピアノ演奏、栗原臨床検査技師によるサックス演奏、山本介護士によるギター演奏と歌が行われました。多くの利用者さんに楽しんでいただけたと思います。

行事食としては、秋の訪れを感じる栗ご飯のメニューを提供しました。見た目でもお祝いが感じられるように、金目鯛や寿が印字された高野豆腐に花型の人参やゼリーも加えてみました。



老健久米川外国人職員の紹介

①老健久米川の印象、②日本の好きなところ、③今頑張っていることを聞いてみました！

- ①チームワークが良い。設備やルールがしっかりしている。
- ②海がきれい。安心して暮らせるところ。
- ③日本語、介護福祉士の勉強、介護福祉の資格を取って、日本に長くいられるよう頑張る。

Rさん



- ①スタッフが優しい。トラブルがあったら上司が解決してくれる。
- ②景色が良い。空気が良い。穏やか。
- ③日本語の通訳と医療通訳を取りたい。

Tさん



- ①老健が初めてなので施設の大きさにびっくりした。ユニットの部屋も広い。
- ②渋谷。洋服を買いに行ったりインドネシアの料理が食べられる。
- ③介護福祉士の資格の勉強と日本語の勉強を頑張っている。

Aさん



さんあい介護医療院・通所リハビリテーション 三愛クリニック・三愛訪問看護ステーション 障害福祉サービス短期入所（医療型）



院長 小野真一

新年あけましておめでとうございます。

三愛クリニック・さんあい介護医療院は、大過なく2026年を迎えることができました。これもこの1年間、院内・院外を問わず、皆様方のご尽力・ご支援のお陰と存じます。ありがとうございました。

2025年上半期の入所者は例年よりも少なく、下半期に盛り返す形とはなりましたが、昨年ほどの実績には届きませんでした。当院はその沿革からも実質的に単立の施設ですので、入所者は外部、特に近隣からのご紹介という“外部環境”に依存せざるを得ないのが現状です。

一方、高齢者の単独世帯数は少しずつ増えています。そして高齢者の認知症有病率は2022年に443万人（12.3%）であったものが、2040年には584万人（14.9%）と推計されています。人生100年時代の実態とはこんなものです。このように変革して行く人口構造に対して、医療関係者が旧態依然とした対応のままで良い訳がありません。

一方、保健制度の枠組みの中で、人件費・材料費の高騰を吸収しつつ、入所者様に満足して頂ける医療・介護サービスを提供し続けて行くのは並大抵のことではありません。

まさに、社会状況の変化に対応し適応して行くことが出来なければ生き残ってはゆけません。昨今の医療関連機関の閉院、倒産は或る意味、必然なのかもしれません。

当院は古くからの街並みが残る滝山街道沿いに位置し、地域の高齢化率も高くなっています。行政機関との連携をより一層密にし、地元社会のニーズに応えてゆくのも当院の役目です。

このようにしてみると、まだやるべきことは沢山あることが見えてきます。そして、皆様の英知を結集すれば出来ることも沢山あるのです。本年も宜しくお願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は多くのご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年1月より介護課は看護部門から独立し、「介護部」として新たなスタートを切りました。職員一人ひとりが自立し、アセスメント力・発信力・実践力の向上に励んでおります。

これからも多職種が力を合わせ、利用者さまお一人おひとりの笑顔と安心を大切に、心のこもったケアをお届けしてまいります。

【介護部 部長 児島高輔】

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、いつも温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

当院では、皆様が「自分らしく、いきいきと過ごせる毎日」を応援するためリハビリテーションに力を入れており、当院の利用者様はもとより、ご自宅での生活を支える訪問看護ステーションからのリハビリや、住み慣れた地域で暮らしながら通える通所リハビリまで対応しています。9月からは新たに訪問リハビリをスタートし、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の専門職がご自宅に伺い、いつもの生活環境の中で、それぞれの目的や希望に沿ってリハビリを行っています。

お一人おひとりの“その人らしさ”を大切に、職員一同心をこめてサポートしてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【リハビリテーション室 室長 山本匡彦】

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当院の運営並びに看護・介護へのご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

私たち看護部は「人としての尊厳を重んじ、その人らしさを大切にします」という基本方針を胸に、ご利用者さま一人ひとりの人生の歩みを尊重し、心身の状態だけでなく、その方の思いや願いにも寄り添う看護・介護を目指して日々のケアに取り組んでいます。本年も地域の皆様と共に歩み、信頼される施設づくりに努めてまいります。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げるとともに、本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

【さんあい介護医療院 看護部長 相田園子】

訪問看護ステーション はぎやま

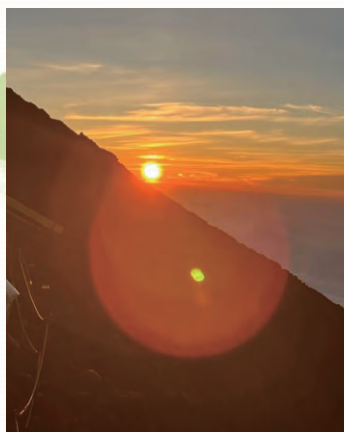
新年あけましておめでとうございます。昨年 7 月に全国訪問看護事業協会が創立 30 周年を迎え、その記念式典の中で 15 年以上に渡り管理者としてその運営と後進の育成に尽力したとして表彰を受けました。きらびやかな会場に圧倒されながらも、関係者の方々の貴重なお話を聞くことができ、今まで多くの方々に支えられてきたことを改めて感謝する日となりました。これからもご指導いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。 **所長 佐野 みゆき**



念願の富士登山に挑戦しました！

私はこの夏、子どもたち3人と富士山に登りました。一度は登って見たかった富士山。60歳を過ぎ体力と持久力は衰えるばかり。今年こそは！と一念発起。仕事帰りは40分かけて歩いて帰宅。健保組合のウォーキングキャンペーンが励みとなり1日8000歩以上歩き目標達成。完歩賞で1000ポイントゲット。仕事でエレベーターのない団地の4、5階への訪問も結構あり、憂鬱な気分になることも。しかし「やったー、トレーニング！」と考えが変わりました。

登山予定日は悪天候の予報でしたが、当日は徐々に回復し時々霧雨が降る程度で登りやすく、私でも登れるようにと重い荷物は息子2人が全部持ってくれました。歩くペースも私に合わせてくれ、休憩の時はまず水分補給とエネルギー補給に好物のナッツをさっと出してくれました。



ほぼ予定通りに9合目の山小屋に到着。雲海が美しかった。酸素飽和度を測ったら78%、ちょっと頭が痛くなり高山病かと心配しましたが、仮眠をとって目覚めたら治っていました。夜中に山頂を目指して出発。



空気が薄くて息切れがする。風が強く寒かった。でもお互いに励ましあいながら全員で山頂まで登ることができました。下山途中で、ご来光を拝むこともでき長年の夢をかなえることができました。 **看護師 村山 雅子**

復職支援研修の体験施設に選ばれました！

東京都看護協会が東京都から委託を受けて実施している「東京都看護職員復職支援研修」の、令和7年度体験施設に選ばれ受け入れを行っています。看護師の免許は持っているけれど、子育てなどによりブランクがあり、また働けるか不安…といった方々の看護職復帰を応援するための研修です。ちなみに受講料は無料です。講義と同行訪問で、利用者様の在宅での様子や、進化した医療機器、在宅ならではの工夫についても見学できます。受講者からは訪問看護について理解が深まったと好評をいただいています。看護師が不足している中、潜在看護師に少しでも「また看護がしたい！」と思っていただけるよう、研修内容にも工夫しながら取り組んでいます。【詳細はQRコードからご覧いただけます】



指定居宅介護支援事業所 はぎやま

新年あけましておめでとうございます。令和7年の3月より愛有会地域交流会がスタートしました。体操や講演会等色々な企画を用意しております。今後も地域の皆様とのより良い関係を築いてまいります。所長 高橋 佐知子

「えんがわ介護そうだん」でお待ちしております♪

現在、中部圏域で「えんがわ介護そうだん」という活動を行っています。地域のケアマネジャーによる相談窓口を開き、介護に関する事の相談を受けています。介護保険に関する事以外でも、何でも困り事を相談できる場所になっています。毎月第2水曜日の10時～14時の間、場所は本町にある「いなげや」のイートインスペースで実施しています。

相談に来られる方はまだ少なく、このような活動がある事を知らない方も多くいらっしゃると思います。毎回ケアマネが3名待機してお待ちしております。どんな些細な事でも、一人で抱えずに相談にいらしてください。話をするだけでも気持ちが楽になったと言う方もいらっしゃると思います。

また、来年度からは活動の形を変更していく予定になっています。どのような形がいいか試行錯誤している現状です。できるだけ地域の皆様に認知してもらい、相談しやすい場を提供できればと考えています。



ケアプラン・データ連携システム 始めています！

現在「ケアプラン・データ連携システム」の導入が進められています。居宅はぎやまでも令和7年11月からシステムを導入しました。

事務作業の負担を軽減して、直接皆様との関わりを多く持てるようにしていく為に積極的に活用していきたいと思います。慣れるまでは大変ではありますが、関係機関と協力して質の高いサービスを提供できるよう考えています。

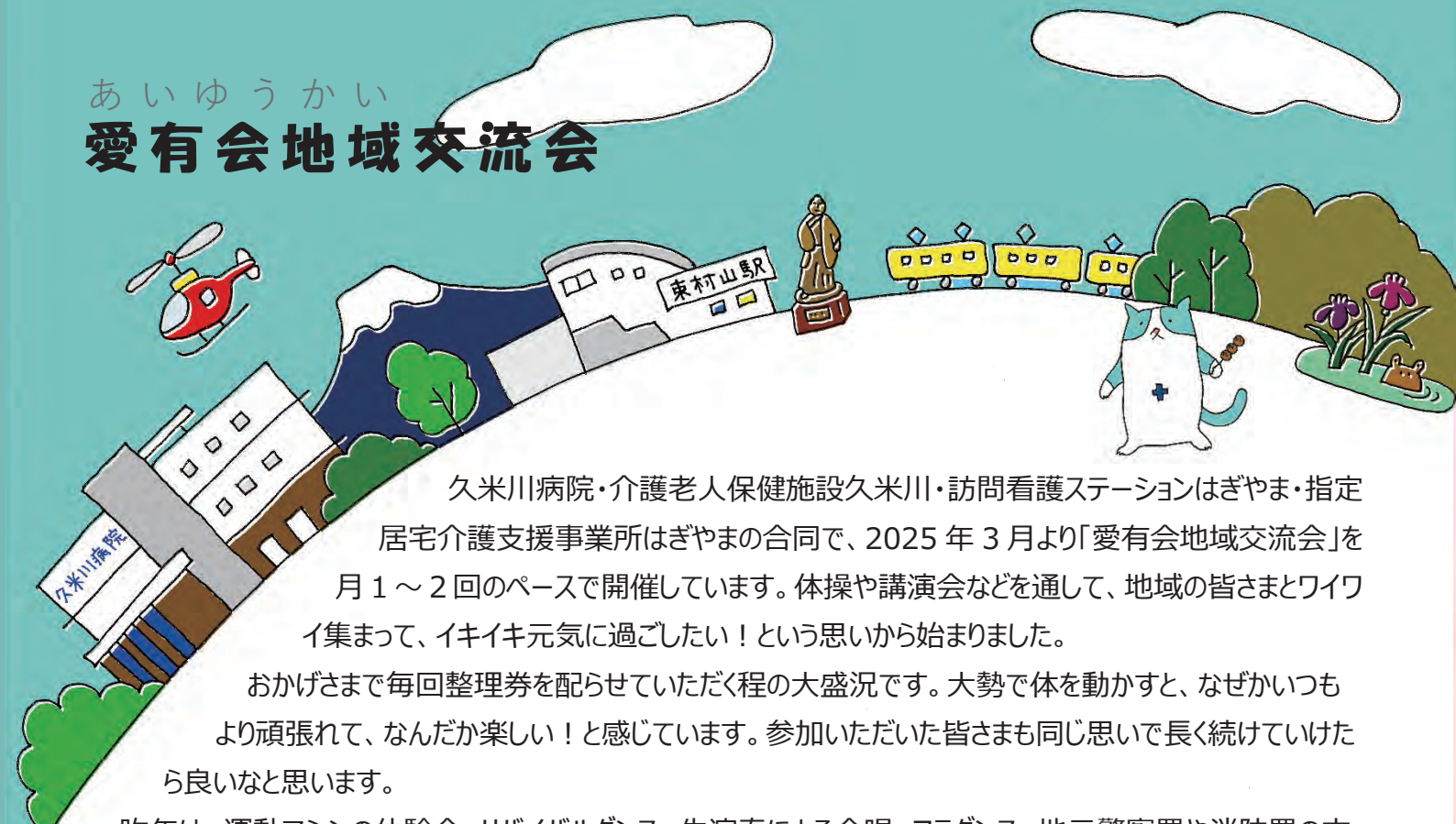


ーケアプラン・データ連携システムとはー

介護人材の確保が喫緊の課題とされる中で、介護現場の負担軽減や職場環境の改善のための取り組みの一環として厚生労働省より公開されたシステムです。居宅介護支援事業所と介護サービス事業所の間で毎月やり取りされるサービス提供票などをデータ連携でき、介護事業所の文書作成に要する負担が大幅に軽減されることが期待されています。

あいゆうかい

愛有会地域交流会



久米川病院・介護老人保健施設久米川・訪問看護ステーションはぎやま・指定
居宅介護支援事業所はぎやまの合同で、2025年3月より「愛有会地域交流会」を
月1～2回のペースで開催しています。体操や講演会などを通して、地域の皆さまとワイ
ワイ集まって、イキイキ元気に過ごしたい！という思いから始まりました。

おかげさまで毎回整理券を配らせていただく程の大盛況です。大勢で体を動かすと、なぜかいつも
より頑張れて、なんだか楽しい！と感じています。参加いただいた皆さまも同じ思いで長く続けていけ
たら良いなと思います。

去年は、運動マシンの体験会、リバイバルダンス、生演奏による合唱、フラダンス、地元警察署や消防署の方
による防災・防犯のお話し、省エネを考えるシリーズの講演などなど、盛りだくさんの内容でした。

久米川病院屋上ヘリポートの見学会や、農協さんの協力により野菜の直売会も開催できました。今後も、アンケート
結果や皆さまのご要望を踏まえて、様々なプログラムをご用意してまいります。ぜひご参加ください。



愛有会地域交流会
マスコットキャラクター
「くめにゃん」です



得意技：おなかのフラフープを回して、地域交流を
クルクル円滑に進める
好きな食べ物：久米川名物 焼き団子



プログラムは久米川病院に掲示しています。また、ホームページ
からもご覧いただけます。ご確認の上、どしどしご参加ください♪

さんあい介護医療院 地域交流

当院では、地域交流の一環として、加住地区の住民の皆さんと一緒に講座や合同消防訓練などで交流を深めてまいりました。参加者一人ひとりが、日頃の生活の中で感じている地域の課題や魅力について活発に意見を交換しています。地域社会をより豊かにするため、新しい視点と共通の目標を持つことの大切さを再確認しています。



当院ご利用者様（10名）と一緒に加住市民センター主催の介護フェアに参加しました。キャラクターのぬいぐるみと一緒に体操をして皆さんの笑顔がみられました。



当院の会議室にて、小野院長と山本室長が講師となって『神経難病の基礎知識と自宅でできるリハビリ』講座を開催しました。画像は『パーキンソン病の方にも役立つストレッチ』の様子です。



八王子市主催の『地域づくり推進会議』が創価大学で行なわれました。加住地域の皆様や創価大学、杏林大学の学生が参加しました。（当院参加者、中村・梅本）地域の住民や大学生と一緒に地区の特性を理解して、出来ることを考えました。



東京消防庁 八王子消防署 榎原出張所の協力の元、地域合同防災訓練を行いました。（参加者、当院より43名・住民の方28名）消火訓練をはじめ、起震車や煙体験等の訓練にて災害時の対処法を学びました。

愛有会 運営事業所

久米川病院

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-393-5511**

介護老人保健施設

久米川

通所リハビリテーション

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-313-0710**

訪問看護ステーション

はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-396-7700**

指定居宅介護支援事業所

はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-391-3007**

三愛クリニック

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4111** (代表)

さんあい 介護医療院

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4111** (代表)

三愛訪問看護 ステーション

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4131** (代表)

編集委員（法人広報委員会）

■ 法人事業部

[業務室] 浅野

[DX 推進室] 斎藤

■ 三愛クリニック・さんあい介護医療院

■ 三愛訪問看護ステーション

[コメディカル部] 上利

[総務課] 野口、藤原

■ 久米川病院・介護老人保健施設久米川

[情報管理室] 長岡

[コメディカル部] 湯本

[看護事務] 川合、[総務課] 川根、柴田

■ 訪問看護ステーションはぎやま

[事務] 小森

■ 指定居宅介護支援事業所はぎやま

[事務] 本多

社会医療法人社団 愛有会

愛有会通信

■ 発行者／東京都東村山市本町4-7-14

社会医療法人社団 愛有会

TEL.042-390-2033

<https://aiyukai-group.or.jp/>